

case

心理

浜児童相談所
相談判定課

私は

ふくしまの 🍷 🍶 🍺 🍻
★ フルーツとお米とお酒

が好き！

わたしを表すキーワード

5

keyword 01

#満を持して

昨年3月まで横浜で障害福祉関係の仕事をしていました。横浜で様々な経験をし、満を持して福島に帰ってこれて、とても嬉しく思っています。

keyword 02

#自然や動物が好き

自然を眺めたり、動物を見たりするのが好きです。福島の自然の豊かさや美しさに触れる事、動物と触れ合う事がリフレッシュに繋がります。

keyword 03

#人に寄り添う

keyword 04

#HAPPY

keyword 05

#マッサージ屋巡り



子どもたちが安心して暮らせる“ふるさと”へ

私は、心理判定員として、子どもと面接を行ったり、心理検査を行ったりしています。子どもの気持ちを受け止め、寄り添い、困っていることなどに対して何ができそうかを一緒に考えながら、子どもたちが安心して暮らしていけるように少しでも生活面のサポートが出来たらと考えています。

県職員を目指した理由

東日本大震災後、「福島で何かできないかな」「心理職として働きたい」という思いをずっと心に秘めていました。「やっぱり、自分のやりたいことを一度やってみたい！」と心から自分の願いを叶えたくなり、今回福島県職員を志望しました。



今児童の心理検査を実施しています

とある一日のスケジュール



私の仕事の覚え方

「習うより慣れよ」という言葉がぴったりだと思います。初めてのことは不安も沢山ありますが、どんなことでも自分のためになると思って取り組むようにしています。分からないことは小さいことでも先輩職員に聞いて、助けていただいています。



↑一緒に遊びながら児童の行動観察

福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



「福島に住んでいてよかった」と思えるよう、より良い地域を、福島をつくっていきたいです。特に心理職として、未来を担う子どもたちが福島での生活に安心や魅力を感じてもらえるように尽力したいと思っています。